

みなさんで話し合ったことをもとに、まとめてみました。
子どもたちの具体的な姿をイメージして実践していきましょう。



ひびきあう姿とは・・・

みんなで関わり合いながら、よりよいものをめざし、
よりよいものを築き上げていく姿。
目に見える、または目に見えないけど、単元のねらいにより近づく心の変容
「強化」「変化」「統合」

<ブロックのテーマ>

低学年	中学年	高学年	個学
感じる心、素直に表現する自分 ・人の言動に何かを感じる姿 ・自分の思いや他者からの刺激を受け止め、素直に表現する姿	追究する力、仲間と支え合う自分 ・自分の問題をとことん追求する姿 ・仲間と共同して追究する姿	仲間への理解、自立する自分 ・仲間に関心しつつ、自分の思いも大切にする姿 ・新しい価値観にふれ、自分を再構築する姿	感じる心、気持ちを伝える自分

ひびき合う姿を具体的にみとるために

低学年

友達や教師の刺激を感じている姿

○友達や教師の声を受け止める姿

「たしかに」「あー」「なるほど」
「そうか!」「いいねえ。」
「うーん。」「でも〜。」
「おー。」「へえ。」
「ええっ!？」

○友達の行動を感じる姿

「何をしているの?」「〜を使ってるな。」
「それをやっているのかあ・・・」
「それなあに?」
「何を見てるの?」



刺激を受け止め

素直に自分を表現する姿

<自分の思いを素直に語る>

「わたしは〜です。」
「ぼくは〜だよ。」
「わたしも〜だな。」
「ぼくも〜思う。」
「わたしも〜したい。」

<自分の思いを伝える>

「じゃあぼくは〜するよ。」
「それは〜するといいよ。」
「〜したほうがいいんじゃない。」
「〜してみようよ。」
「〜もやってみよう。」

中学年

仲間と支えあって

追究しようという気持ちで聞き、

○互いの違いを認め合う姿

「たしかに」「あー」「なるほど」

「その考え方もいいな」

「そういう考え方もできるね」

○仲間の考えとつなげる姿

「～さんと同じで」

「～さんにつけたしで」

「～さんは～だけど」

「～さんとちがって」



自分の問題の解決に生かしたり、
さらに追究したい気持ちになる

<意見がもてる>

考えができた！

<思いに自信をもつ>

「そうそう！私もやっぱりそう思う」

<思いを強める>

「それもわかるけど、

やっぱり私はこう思う」

<違う考えに納得する>

「考えがかわったよ」

「その考えがいいと思った」

<友達の考えとあわせて>

「考えに～さんの意見とあわせて

～しよう！」

高学年

自分の思いを大切にしながら聞き、

○互いに理解しようとする姿

「なるほど」

「そういう考えもあるんだ」

「～という理由でそういう意見なんだね」

「～というところを大切にしているんだね」

「～の点に注目しているから～なのか」

「どういうこと？」「例をあげてみて」

○みんなが理解できるようにする姿

「～さんは～考えているんだよ」

「～さんの考えは～ということでしょ？」



聞いたことから、自分を再構築する姿

<思いを強める>

「それもわかるけど、～だから

やっぱり私はこう思う」

<思いや考えに自信をもつ>

「そうそう！～というところで

私もやっぱりそう思う」

<違う・新たな考えに納得する>

「～思ってたけど～って大切だな。」

「その考えの～注目している所

がいいな」

<考えが深まった>

「～が大事なのなら、じゃあ

～なのではないか」

「～ということなら～の方がいい」